

平成23年度 第2回(財)北海道農業開発公社入札監視委員会審議概要

開催日 平成23年10月27日(木)
場 所 財団法人 北海道農業開発公社 5階会議室
委員長 伊藤 隆道 (弁護士)
委 員 井上 京 (北海道大学 准教授)
委 員 太田 武司 (公認会計士、税理士)

議事等

1 報告事項

- (1) 平成22年度発注工事等に関する審議結果について
- (2) 平成23年度現地調査について
- (3) 平成23年度上期(4月～9月)入札執行状況について
- (4) 平成23年度上期(4月～9月)入札結果及び抽出案件について

2 審議事項

平成23年度上期(4月～9月)に関する抽出案件の審議について【総件数6件】

- (1) 建設工事【制限付一般競争入札】
畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業)中新地区 第2工区
- (2) 建設工事【公募型指名競争入札(設計・施工一括発注方式)】
畜産担い手育成総合整備事業(水田地帯等担い手育成型事業)道央石狩地区 第3工区
- (3) 建設工事【工事希望型指名競争入札】
畜産担い手育成総合整備事業(再編整備型事業)雄武地区 第3工区
- (4) 建設工事【指名競争入札】
公社営農場リース事業 22中標津第3地区 第54工区
- (5) 建設工事【随意契約】
畜産環境整備事業 鶴居地区 第2工区
- (6) 委託業務【指名競争入札】
畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業)遠軽地区 第3委託

【審議概要】

委員からの意見・質問等、それに対する回答・説明等の概要は次のとおり。

委員からの意見・質問等	回答・説明等
<p>制限付一般競争入札</p> <ul style="list-style-type: none"> 審議資料の建設工事競争入札（参加）業者選考過程等一覧表に「建築工事客観的評定数値」の項目があり、評定数値が記載されている。これは先ほどの入札に参加する者に必要な資格の中では説明としてなかったように思われるが、何を意味しているのか。 客観的評定数値は工事実績ばかりではなく、経営状況等も含まれた指標ということか。 <p>公募型指名競争入札（設計・施工一括発注方式）</p> <ul style="list-style-type: none"> 発注者である公社が設計内容を一つの案に決められないといった理由等から、この設計・施工一括発注方式を採用したということによいか。 設計・施工一括発注方式における事務手続きフローによると、入札参加希望者から申請書等の資料が提出され、資料のヒアリングの後に施設検討委員会が行われている。この施設検討委員会は公社内部の職員のみで構成されているのか。 <p>工事希望型指名競争入札</p> <ul style="list-style-type: none"> あらかじめ実施対象とする工種の入札参加希望者を募っていても、必ずしも入札参加希望者がすべての入札に参加している状況にはない。何か原因は考えられるか。 審議資料の参加希望届提出者名簿に「主観点」の項目があり、評定数値が記載されている。特に説明としてはなかったように思われるが、何を意味しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> こちらの客観的評定数値は、本来、予定価格の額が5億円以上の制限付一般競争入札における入札参加資格者に求めている資格要件です。本件では予定価格の額が5億円未満であることから、応募者に必要な要件として、この客観的評定数値が何点以上でなければならないということは求めておりません。あくまで参考値として記載しており、この客観的評定数値で資格の有無を判定するものではありません。 なお、各入札参加希望者における客観的評定数値については、建設業の許可行政庁（国土交通大臣及び都道府県知事）が建設業者の施工能力や経営状況等を客観的な指標で評価している経営事項審査に基づき算出しております。 はい。公社の資格の種類に対応する建設業許可業種の年間平均完成工事高の評点、技術職員数及び元請完成工事高の評点、経営状況の評点等を基に算出しております。 この工事については、施工方法等が異なる複数の案が考えられ、施工方法等によって設計内容が大きく変わるなど、発注者が設計内容を一つの案に決められず、施工技術に精通した者の技術力を得て、設計することが必要であるといった理由等から、設計・施工一括発注方式を採用しております。 施設検討委員会の委員等については、公社内部の職員及び大学教授等を顧問として加え、構成されております。 発注時期に応じた他の工事の受注状況、工事の難易度及び配置可能な技術者の数等が要因としては考えられますが、支店・営業所等を道内に広域的に設けている入札参加希望者が、入札にも積極的に参加している傾向はございます。 主観点につきましては、公社の工事施工成績評定から算出された評定数値を記載しております。 あくまで参考値として記載しており、この主観的評定数値で資格の有無を判定するものではありません。

委員からの意見・質問等	回答・説明等
<p>・主観点の評定数値がない者は、過去に公社の工事施工実績がないということか。</p> <p>指名競争入札（建設工事）</p> <p>・本件は当初、制限付一般競争入札の方法により実施したが、入札参加資格審査申請書の提出者が1者もいなかったことから、制限付一般競争入札での執行を中止し指名競争入札で行ったようだが、申請者がいなかったことに関し何か原因等は考えられるか。</p> <p>・審議資料の「3 指名競争入札参加者指名基準」の記載内容を勘案すると、結果的に入札参加者に求める格付等級の範囲は広げているが、予定価格等の他の要件は当初のままという理解でよいか。</p> <p>随意契約（建設工事）</p> <p>・この入札方式では1者しか入札参加申請者がいない場合は、一般的にその者と随意契約という流れになるのか。</p> <p>・検討資料に「本来であれば予定価格を公表し入札を執行するところであるが、随意契約とし、予定価格を事前公表せずに執り行う。」とあり、見積書の提出者に予定価格は分からないとのことだが、仮に随意契約に移らず、設計・施工一括発注方式による公募型指名競争入札で執行した場合には、予定価格の公表はどの時点で行うのか。</p>	<p>・記載の主観点は、平成21年、平成22年の工事施工実績評定に基づき算出しておりますので、主観点の評定数値がない者は、過去2年間に公社の機械器具設置工事における施工実績がない者となります。</p> <p>・公式な調査ではありませんが、審議資料にある建築工事C等級の指名業者7者については過去の公社の実績等から、中止とした制限付一般競争入札の入札参加資格要件を満たしている者であることが想定され、この指名業者から参考意見として入札参加申請を行わなかった理由等を確認しております。</p> <p>なお、この7者のうち3者は「配置予定技術者がいないため」という理由で指名競争入札においても入札を辞退しておりますので、残りの4者についての確認となりました。4者のうち1者は「工事が公表されていること自体を知らなかった。」、残りの3者については「畜舎の改修工事であるという工事の難易度等を考慮した場合、積極的には入札参加申請は行なえなかった。」という理由でした。</p> <p>・はい、中止となった一般競争入札で設定した入札参加要件等は妥当であると判断し、これ以上要件等を緩和しますと品質確保等の観点からも支障が出ると考えられたため、格付等級のみの変更としております。</p> <p>・本件の搾乳関連排水処理施設に係る当初の入札方式は、施工方法等が異なる複数の案が考えられる、または、排水の水質確認を確実にするためなどといった理由から、設計・施工一括発注方式による公募型指名競争入札を採用しております。</p> <p>そういった理由で採用した入札方式を、他の入札方式で行うのは難しいところもあり、このため1者でも入札参加申請があれば、まず、その申請者の技術提案内容等が、こちらで求めている要件等を満たしているのかどうか審査、確認等を行ない、要件等を満たしていれば、現状では随意契約にせざるを得ないのではないかと考えております。</p> <p>・予定価格の公表は、指名通知の際に行います。</p>

注) 一部重複する確認事項等については除くものとする。

3 その他

【次回入札監視委員会の開催について】

平成24年度第1回入札監視委員会の開催は、平成24年4月26日(木)北海道農業開発公社5階会議室で午後1時30分から行う。